

新製品ニュース

米国Santur社製波長可変レーザモジュール

～ 高出力で全波長域をカバー～

米国Santur社製波長可変レーザモジュールは、光通信ネットワーク光源用の波長可変レーザです。この製品の特長は、ベースにDFBレーザを採用したことです。これにより他方式の波長可変レーザ（VCSEL：Vertical Cavity Surface Emitting Laser）に比べて高出力を実現し、また他社で採用されている外部共振器型レーザに比べシンプルな構造となり、テレコムグレードを見据えた高信頼性が期待できます。個々のアレイ選択はMEMSチルトミラーにより高速に切り替え可能です。

波長領域は、1モジュールでC-BandもしくはL-BandのITUグリッド全波長域を隙間なく25GHz間隔でカバーします。パッケージ・インターフェイスはOIF(Optical Inter working Forum)の規格に適合し、また現在さらに光学系の集積化を進め、小型化した製品も開発中です。

WDMトランスミッター（送信側）で使われる従来型シングル波長DFBレーザの交換・置き換え用のユニバーサルラインカードとして、さまざまなアプリケーションが期待されています。

<主な特長>

高出力10-20mW（SOA無しで）

広帯域チューニングレンジ 全 C or L-band対応(36-44nm)

波長ロッカー内蔵(ITU Grid 25GHz対応)

VOA機能搭載

<主な仕様>

TL1020-C(C-Band 20mWタイプ)

パラメータ	Min	Typ	Max	Unit
ファイバー端出力	20	-	-	mW
波長可変レンジ	1529	-	1563	nm
チャンネルスペース (ITU Grid)	25	50		GHz
波長スイッチングスピード	-	2	-	sec
スペクトラム線幅 (FWHM)	-	3	15	MHz
SMSR	40	50	-	dB
RIN (20MHz to10GHz)	-	-145	-140	dB/Hz
電源電圧	3.15	3.3	3.45	V
電源電流 (T _{case} = 25°C)	-	-	2.5	A
(T _{case} =70°C)	-	-	3	A
ケース動作温度	-5	-	70	°C

<Santur Corporationについて>

代表者：RICHARD CRAIG (CEO)

本社：米国カリフォルニア州フリモント

設立：2000年11月

事業内容：光通信ネットワーク市場に、光通信コンポーネントを設計・製造し提供する米国のベンチャー企業。
今回の波長可変レーザーモジュールは同社での第1号製品。

Santur Corporationの詳細については、www.santurcorp.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：983名（2002年4月1日現在）

売上高：1,381億円（2002年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。
光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2001年度で約20億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：望月（モチヅキ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail:motizuki@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

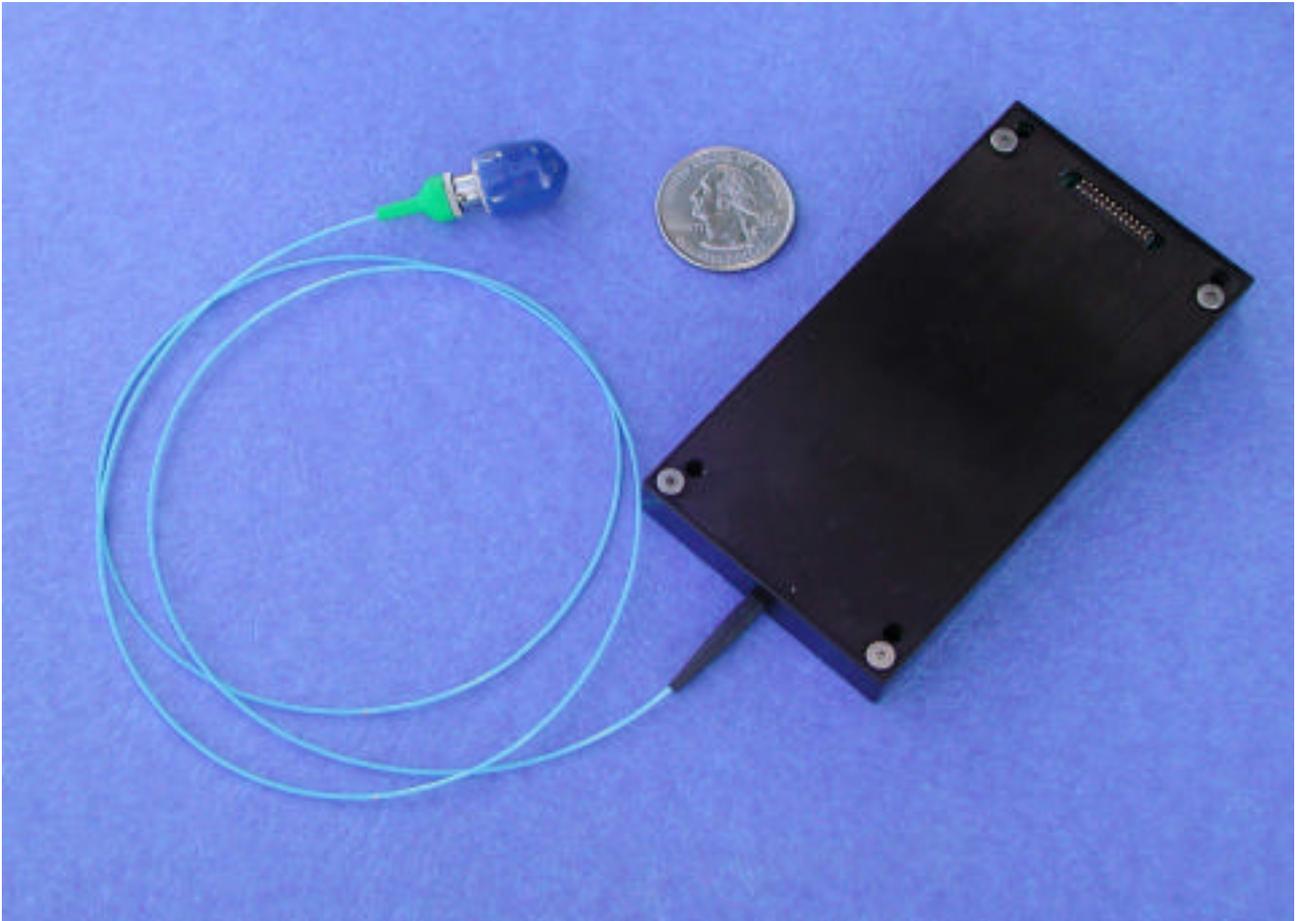
担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp



米国Santur社製
波長可変レーザーモジュール